

粘菌の会 会報

AIIC

第 14 号 令和 2 年
2020 年 6 月 1 日発行

今、人々は新型コロナウイルスの世界的感染で苦しめられています。自然が与えたウイルスの力に科学の力で対抗していますが未だ出口は見えません。人類が生き残るには他の生物と同じくウイルスと共に生きる知恵を持つように心がけたいものです。粘菌は何億年もの間、さまざまな環境に応じて姿を変えて生き方を工夫してきました。その粘菌から自然の力、ウイルスなどの他の種との付き合い方、生き方を学びたいと思います。

「山路きて何やらゆかしすみれ草」

芭蕉

自然が草花に与える力は人に共感と感動を与えるようです。

AIIC 代表

加藤修一



東国吉交差点横

会員 S さんのお手植えのバラ 5/25



5/26

今年初の発見 マメホコリ

能満地区の農道 5/7



子実体の
初期

保存林 5/25

能満地区自然観察園?オープン

5月6日 舞い上がる孢子に感動!!

今年の釋蔵院の粘菌発見は千葉市の増田さん親子です。めっちゃ嬉しかった!……そうです。

<中 2 の M 子さんからの感想を頂きました>

子実体はものすごく小さいイメージだったんですが、思ったより大きくてビックリしました。

きれいに孢子がポフッと出てきて面白かったです。



マンジュウドロホコリ

☞ 第一発見者、しかも 2 つの粘菌の孢子の飛び瞬間を目撃……粘菌って面白い、確かにホコリが飛んだ!!

行事予定

6 月 6 日(土) 定例会 総会 12:30

7 月 4 日(土) 日本変形菌研究会

2020 年度夏期観察会

☞ AIIC の観察会は今後検討です。

11 日(土) 定例会 12:30



ナルナル菌
発酵木箱と
石井さん



木箱内側の壁に 5/12

ムラサキホコリ発見!

「子実体形成」とされる経過も観察できました。博物館にて紹介します。

文責 中村(良)